

## 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
107-224	高等学校	地理歴史	日本史探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

## 1. 編修の基本方針

学習指導要領や教育基本法の主旨を忠実に守りつつ、以下の点を編集の軸とした。

- ① 我が国の連綿と続いてきた歴史や伝統を尊重し、歴史の良識を身につけられるように構成する。
- ② 基本的な知識や技能の習得と、意欲ある学生のための発展的学習を手助けするものをバランスよく構成する。
- ③ 歴史の真実を探究する自主性を促し、答えではなく問いを提起することを重視して構成する。
- ④ 我が国の歴史と伝統に誇りが持てるように構成する。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
本文およびコラム	【幅広い知識と教養を身に着け】本文を中心に豊富な情報量を盛り込み、コラムにおいてさらに補足する形で、従来は焦点が当てられなかったところにまで手の届くものとなるように留意した。(第1号)	全文
コラム・京都になぜお堀がないのか コラム・対米戦争に勝算はあったのか コラム・蒸し返された韓国の請求権	【真理を求める態度を養い】左のコラムのように、歴史上のさまざまな事象に疑問を持ち、自ら探求できるきっかけを随所に配置するように留意した。(第1号)	109-110 424-425 478-479 ページ
コラム・『古事記』の国譲り神話 コラム・聖徳太子はなぜ仏教を受容したのか	【豊かな情操・道徳心を培う】左のコラムのように、我が国の歴史における話し合いの精神や多様性の尊重などを明記することで、学生の豊かな情操や道徳心を喚起するように留意した。(第1号)	32-33 73 ページ
コラム・古代オリンピックと近代オリンピック	【健やかな身体を養う】コラムにおいて、オリンピックの歴史を紹介し、戦争とスポーツの関係を理解させつつ、健やかな身体に目を向けられるよう	467 ページ

	に留意した。(第1号)	
コラム・修身道德の根本規範『教育勅語』	【個人の価値を尊重し】 教育勅語において「個人の価値」を一方的に享受するのではなく、周りの人々を慮り、祖先の紡いできた古き良き価値に想いを馳せることの大切さを紹介することで「個人の価値の尊重」をただの権利の享受ではなく、より正しい形で理解できるように留意した。(第2号)	350—351 ページ
コラム・日本が生んだ新幹線	【その能力を伸ばし、創造性を培う】 新幹線という今では当たり前の公共交通機関が、世界の常識を覆すほどの創造性を有するものであったことを紹介し、日本のものづくりと身近なモノの創造性に気付かせるように留意した。(第2号)	463—464 ページ
コラム・トルコと日本の意外なつながり コラム・昭和天皇とマッカーサー元帥の会談	【正義と責任】 エルトゥールル号事件における日本人の行動が今なお続く両国関係に繋がっていることや、敗戦時の昭和天皇の責任感ある態度を紹介し、正義と責任の意義について理解出来るように留意した。(第3号)	357—358 455—456 ページ
本文 P127 御成敗式目 コラム・福沢諭吉の母は偉かった	【男女の平等】 福沢諭吉の母親などの日本人女性の活躍を取り上げ、母親の偉大さに気づかせるように留意した。 また、御成敗式目で男女平等が謳われていることを説明し、日本社会で男女平等が意識されてきたことに注目させるように留意した。(第3号)	127 334—335 ページ
コラム・「聖帝」として歴代天皇の模範とした仁徳天皇 コラム・修身道德の根本規範『教育勅語』	【公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う】 仁徳天皇や教育勅語の他者を慮る態度が社会に与えた影響を紹介することで、その重要性を理解させるように留意した。(第3号)	59 350—351 ページ
コラム・神宮の御用材	【自然を大切にし、環境保全に対する態度を養う】 神宮の御用材がリサイクルされてきたことを紹介し、日本人が環境保全を重視してきたことに	164—165 ページ

	気付かせるように留意した。 (第4号)	
コラム・男系で継承されてきた皇統	【伝統と文化を尊重し】 万世一系で途絶えることなく続いてきた皇統に注目させることで、長年継承されてきたものの大切さに気付かせるように留意した。(第5号)	88-89 ページ
コラム・日本語の起源	【それらを育んできた我が国と郷土を愛する】 最も身近な言葉の起源を紹介することで、日本という郷土に想いを至らせるように留意した。(第5号)	80-81 ページ
コラム・トルコと日本の意外なつながり コラム・ウズベキスタンにおける日本人の活躍	【他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う】 他国との助け合いの歴史を尊重することで、国際的な相互理解の重要性に気付かせるように留意した。(第5号)	357-358 461 ページ

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本書は従来の歴史区分を用いつつも、我が国の歴史の特色に従って、歴史の転換点を独自に設定した。そして、天皇を軸として語ることで歴史の連続性をより実感できるように工夫した。また、本書では縦書きを採用し、小見出しにも「いろは順」を用いるなど、ビジュアル面にもこだわり、読書する楽しみを提示しようと試みた。

内容では基本的内容の列挙にとどまらず、より高いレベルの知的探求を手助けし、歴史の真理を追い求める姿勢を育成するように、情報量と問いを意識して構成した。

- (備考) 1 ※受理番号欄には、申請図書番号を記入する。
- 2 その他の※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
- 3 「編修の基本方針」欄には、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために編修の基本方針とした点を記入する。
- 4 「対照表」欄には、図書の構成・内容と教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について記入する。詳細は次のとおりとする。
- ① 「特に意を用いた点や特色」欄には、教育基本法第2条各号に示す教育の目標を達成するために、図書の構成や内容において編修上特に意を用いた点や特色について記入する。その際、教育基本法第2条各号のうち、特に関連が深いものを文末に示す。(例：第〇号)
- ② 「該当箇所」欄には、上記内容に対応する具体的な箇所が分かるように、主な該当箇所のページ(例：〇ページ)を記入する。
- ③ 必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。
- 5 「上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色」欄には、上記の記載事項以外に、教育基本法第5条に示す義務教育の目的や学校教育法第21条に示す義務教育の目標、学校教育法第51条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、編修上特に意を用いた点や特色などがあれば記入する。
- 6 「編修の基本方針」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
- 7 別紙様式第5-1号の分量は5ページ以内とする。

別紙様式第5－2号

(日本産業規格A列4番)

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号 107-224	学校 高等学校	教科 地理歴史	種 目 日本史探究	学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・我が国の歴史を、伝統と文化の特色を広い視野に立って臨場感豊かに著し、ワクワクドキドキの連続でまるで映画を見ているかのように、生徒が授業なしでも理解できるようにわかりやすく編集した。
- ・一義的ではなく多角的に理解させ、答えを求めるのではなく問いを提起することを意識して編集した。少数説もフォローし、幅広い知識を習得するために多くの事実を、科学的根拠・データを用いてしっかりと説明した。
- ・我が国の光と影、その両面を学ぶことで我が国を愛し、そして他国を尊重することができる生徒が育つよう、まさに自分自身こそが我が国の連綿と続く歴史の継承者であることを自覚させ、現代と違うもの、変わらぬものを比較する力を養い、どの生活場面でも生かすことができる教科書を作成した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
この教科書の課題 世界各国王朝略年表 歴代天皇の皇位継承図 歴史学習の幅を広げよう 政権担当者・出来事対照表	ABCD (1) (2) (3)	4～10ペ ージ  500～5 04ページ	2時 間
第1章 原始 一.先土器以前 イ.日本列島の誕生 ロ.人の起源 ハ.日本の磨製石器は世界最古  二.縄文時代 イ.日本の縄文土器は世界最古級 ロ.氷期の終焉と縄文海進 ハ.縄文文化と縄文人の生活 ニ.世界の文明と日本	A (1) (2) (3)	11～  46ページ	22 時間

<p>ホ.ユーラシア大陸の状況  へ.宗教の起こり  ト.天孫降臨  三.弥生時代  イ.稲作の伝来ルート  ロ.弥生文化と弥生時代の生活  ハ.ギリシャ・ローマの文化  ニ.中国大陸と朝鮮半島の状況  ホ.日向三代と神武天皇の東征伝説</p>			
<p>第2章 古代  一.古墳時代  イ.前方後円墳の出現  ロ.『魏志』倭人伝が伝える三世紀の日本  ハ.謎の四世紀  ニ.記紀が伝える日本統一  ホ.世界最大の墓は仁徳天皇陵  へ.宋への朝貢  ト.ワカタケル大王と雄略天皇  チ.古墳時代の人々の生活  二.飛鳥時代  イ.大和時代から飛鳥時代へ  ロ.聖徳太子の新政  ハ.中国との対等外交を目指した遣隋使  ニ.政変と戦争で進む中央集権化  ホ.大宝律令の完成は独立国の証  へ.「日本」を名乗った大宝の遣隋使  三.奈良時代  イ.平城京遷都と記紀編纂  ロ.繁栄の基礎を築いた藤原氏  ハ.出家した聖武天皇と大仏  ニ.皇位を狙う道鏡の野望  ホ.奈良時代の人々の暮らしと天平文化  四.平安時代  イ.平安遷都  ロ.最澄と空海  ハ.摂関政治  ニ.遣隋使の中止と国風文化  ホ.荘園の拡大  へ.武士の台頭  ト.院政  チ.源平の興亡</p>	<p>A (1) (2) (3)</p>	<p>47～114  ページ</p>	<p>32  時間</p>
<p>第3章 中世  一.鎌倉時代  イ.鎌倉幕府の幕開けと執権政治  ロ.承久の乱(承久の変)  ハ.鎌倉幕府の最盛期  ニ.武士と民衆の生活  ホ.蒙古襲来と亀山上皇の祈り  へ.幕府と御家人の関係のほころび  ト.鎌倉文化と鎌倉新仏教  チ.後醍醐天皇の倒幕運動と建武の新政</p>	<p>B (1) (2) (3)</p>	<p>115～176  ページ</p>	<p>24  時間</p>

<p>二.室町時代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ.室町幕府の成立</li> <li>ロ.天皇権が最も衰退した時代</li> <li>ハ.倭寇と日明貿易</li> <li>ニ.琉球と蝦夷地</li> <li>ホ.室町幕府の衰退</li> <li>ヘ. 応仁の乱</li> <li>ト. 生産業と商業の発展</li> <li>チ. 北山文化と東山文化</li> <li>リ. 戦国大名の登場</li> </ul>			
<p>第4章 近世</p> <p>一.安土桃山時代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ.アジアに進出する列強</li> <li>ロ.後期倭寇</li> <li>ハ.鉄砲の伝来と南蛮貿易</li> <li>ニ.キリシタン大名</li> <li>ホ.正親町天皇と織田信長</li> <li>ヘ. 豊臣秀吉の天下統一</li> <li>ト.豊臣秀吉の土地政策と身分政策</li> <li>チ. 対外政策と文禄・慶長の役</li> <li>リ. 城郭建築と美術</li> <li>ヌ. 茶道・芸能と庶民の生活</li> </ul> <p>二.江戸時代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ.関ヶ原の戦い</li> <li>ロ.支配体制の構築</li> <li>ハ.大名の統制</li> <li>ニ.幕府と藩の統治機構</li> <li>ホ.朝廷の統制</li> <li>ヘ.寺社の統制</li> <li>ト.江戸時代初期の外交</li> <li>チ.禁教政策と鎖国外交</li> <li>リ.長崎貿易</li> <li>ヌ.琉球・朝鮮との通信</li> <li>ル.蝦夷地のアイヌと和人</li> <li>ヲ.寛永期の文化</li> <li>ワ.江戸時代の身分と家</li> <li>カ.村と百姓</li> <li>ヨ.町と町人</li> <li>タ. 家綱の政治</li> <li>レ. 綱吉の政治</li> <li>ノ. 正徳の政治</li> <li>ツ. 元禄文化と元禄文学</li> <li>ネ. 儒教と諸学問の発達</li> <li>ナ. 元禄美術</li> <li>ラ. 農業の発展</li> <li>ム. 諸産業の発展</li> <li>ウ. 交通網の整備</li> <li>キ. 商業の発展</li> <li>ク. 貨幣制度と金融</li> <li>オ. 享保の改革</li> </ul>	<p>C (1) (2) (3)</p>	<p>177～ 318 ページ</p>	<p>42 時間</p>

<p>ク. 田沼の改革  ヤ. 百姓一揆と打ちこわし  マ. 寛政の改革  ケ. 押し寄せる欧米諸国  フ. 天保の飢饉と天保の改革  コ. 幕府に下った「消防の勅」  エ. 国学・蘭学と化政文化  テ. ベリー来航と開国  ア. 幕府の衰退と大政奉還</p>			
<p>第5章 近代  一. 欧米の近代化と日本  二. 明治時代  イ. 戊辰戦争と新政府の発足  ロ. 廃藩置県と三大革命  ハ. 富国強兵と文明開化  ニ. 明治時代の文化  ホ. 領土画定と朝鮮政策  ヘ. 自由民権運動  ト. 大日本帝国憲法発布と帝国議会開設  チ. 条約改正交渉  リ. 朝鮮における日清の対立  ヌ. 三国干渉  ル. 義和団事件と日英同盟  ヲ. 日露戦争  ワ. ポーツマス条約  カ. 韓国併合と中華民国の建国  ヨ. 日本の産業革命  タ. 都市と農村の生活  三. 大正時代  イ. 第一次世界大戦  ロ. 対華要求  ハ. ロシア革命と社会主義の成長  ニ. 大戦終結と国際協調  ホ. 大戦景気と政党内閣の成立  ヘ. 大正デモクラシー  ト. 大正時代の生活と新しい文化  四. 昭和時代（戦前）  イ. 中国での排日運動の激化  ロ. 満州事変と満州国建国  ハ. 世界恐慌と国際協調の終焉  ニ. ファシズムと共産主義の台頭  ホ. 二・二六事件と盧溝橋事件  ヘ. 戦時体制に入った日本  ト. 第二次世界大戦の勃発  チ. 日独伊三国同盟と日米交渉の決裂  リ. 真珠湾攻撃で対米戦争が始まる  ヌ. 日本の快進撃とアジア諸国  ル. 戦局の暗転と疲弊する日本  ヲ. 都市空爆と本土陸上戦  ワ. ソ連参戦か原爆投下か</p>	<p>D (1) (2) (3) (4)</p>	<p>319～  446  ページ</p>	<p>70  時間</p>

カ.ポツダム宣言と原爆投下 ヨ.ソ連参戦と戦争終結			
第六章 現代 一.昭和時代（戦後） イ.GHQの占領政策 ロ.大日本帝国憲法の改正 ハ.冷戦と朝鮮戦争 ニ.高度経済成長と石油危機 ホ.戦後の日本文化 ヘ.隣国との関係構築と冷戦の終結 二.平成時代～現在 イ.天安門事件 ロ.冷戦終結 ハ.テロとの戦い ニ.頻発する地域紛争 ホ.緊張する東アジア情勢 ヘ.国際協調と日本の役割 ト.震災と世界の中の日本 チ.日本経済の推移と課題 リ.平成から令和へ	D (1) (2) (3) (4)	447～ 499 ページ	18 時間
		計	210

- (備考) 1 ※受理番号欄には、申請図書番号を記入する。
- 2 その他の※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
- 3 「編修上特に意を用いた点や特色」欄には、学習指導要領の総則や当該教科の目標を達成するため、編修上特に意を用いた点や特色を記入する。
- 4 「対照表」欄には、図書の構成・内容と学習指導要領に示す「内容」の各事項との対照について、「内容の取扱い」も踏まえて記入する。その際、「該当箇所」欄に、申請図書の該当箇所のページ（例：○～○ページ）を記入する。また、必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。
- 5 「配当時数」欄には、申請図書で予定している配当授業時数を示すこと。なお、配当授業時数の記載が必要ない教科、種目については空欄でよい。
- 6 「編修上特に意を用いた点や特色」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
- 7 別紙様式第5-2号の分量は5ページ以内とする。

## 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
107-224	高等学校	地理歴史	日本史探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
53	初期の前方後円墳が密集する…	2	B (1)	0.75
424~ 425	対米戦争に勝算はあったか	2	C (1)	1.75
合 計				2.5

- (備考) 1 ※受理番号欄には、申請図書番号を記入する。
- 2 その他の※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。  
「ページ」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述の掲載ページを示す。
- 3 「記述」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述に付された表題等を示す。
- 4 「類型」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する。
- ・ 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容…… 1
  - ・ 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容…… 2
- 5 「関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項」欄には、当該学年等の学習指導要領の内容や内容の取扱いに示すどの事項と関連があるのか分かるように記入する。
- 6 「ページ数」欄には、発展的な学習内容の記述が掲載されているページ数を記入する。ページの数え方は以下のとおりとする。「合計」欄には発展的な学習内容の記述の合計ページ数を記入する。
- ・ 0.25ページ以下…0.25ページ
  - ・ 0.25ページを超えて0.5ページ以下…0.5ページ
  - ・ 0.5ページを超えて0.75ページ以下…0.75ページ
  - ・ 0.75ページを超えて1ページ以下…1ページ
- 7 別紙様式第5-3号の分量は2ページ以内とする。

## 非常用漢字の初出ページ一覧

非常用漢字	初出ページ
殷	4
遡	4
喻	4
頃	4
倭	4
痕	5
弥	5
蜀	6
胡	6
宋	6
韓	6
魏	6
晋	6
李	6
隋	6
峻	8
弘	8
桓	8
舒	8
醜	8
醐	8
懿	8
雀	8
淳	8
嗟	8
峨	8
智	8
綏	8
龜	8
欽	8
允	8
靖	8
柏	9
桂	9
奈	9
笠	9
脩	9
栖	9
梨	9

秦	12
纂	12
誰	12
那	12
耶	13
伊	13
畿	14
窟	14
廻	14
邇	15
阿	15
須	15
搔	15
斯	15
呂	15
訶	15
淤	15
葦	15
之	15
尻	16
斧	16
堆	16
鹿	16
熊	18
萩	18
杵	19
潰	19
臼	19
尖	19
檜	19
憑	19
棲	20
鏃	20
播	20
焉	21
焰	21
蟹	21
葺	22
箆	22
荏	22
濡	22
粟	22
稗	22

栗	22
猪	22
豎	22
瓢	22
鈎	22
崖	23
琥	24
稀	24
翡	24
珀	24
翠	24
祀	25
汜	26
錫	26
漑	26
灌	26
嶼	27
楔	28
黍	28
毘	30
勾	30
瓊	30
薙	30
迦	30
諏	32
汝	32
瑞	33
吾	33
賑	33
矣	33
此	33
爾	33
祚	33
掬	33
辻	34
棲	34
岡	35
遼	35
壕	36
櫓	36
塞	36
柵	36
濠	36

鍵	37
鍬	37
鐸	37
鋤	37
哇	37
鉤	37
鼠	37
宛	40
綬	40
紐	40
夷	40
匈	41
劉	41
焚	41
俑	41
鵝	42
云	42
蔡	42
菟	43
櫃	44
烏	44
筑	44
咫	44
紘	45
娶	45
儂	45
旦	47
掩	47
亦	47
坐	48
庇	48
煬	48
侶	48
沙	49
跌	49
倭	49
謂	49
於	49
闕	49
薩	49
臚	49
卿	49
勿	49

雞	49
菩	49
詣	49
鴻	49
恙	49
彌	49
曰	49
跏	49
埴	50
餐	50
纏	51
箸	51
籬	52
麓	52
曄	52
范	52
磯	52
呪	53
婢	53
辰	54
謎	54
羌	55
氏	55
庚	56
寇	56
斬	56
卯	57
亥	57
佩	57
揃	58
竈	58
淀	58
讚	58
茅	58
堺	60
埼	62
鹵	62
胃	63
轆	64
輓	64
冶	64
嵌	65
釜	65

杖	65
嘗	66
藤	66
蘇	66
廟	66
捧	67
甥	69
厩	69
姪	69
靱	69
洛	70
鎌	70
嫉	70
妬	70
揉	71
睦	71
紆	72
黎	72
註	72
貪	73
薨	74
淵	74
裴	74
厨	74
徭	76
籠	76
壬	76
蓋	77
巳	77
蝦	77
寅	78
祇	78
舵	80
脆	80
渤	81
玆	81
瓦	83
關	84
沌	84
簾	85
昉	86
橘	86
媛	86

葛	86
擢	86
磐	86
櫃	86
廬	87
彥	89
杼	89
乎	89
淳	89
諫	90
穢	90
幡	90
捏	90
狙	91
禱	96
撰	96
峯	97
叡	97
菅	98
匡	98
枕	98
讒	98
蒙	98
胤	98
帖	98
趙	98
藪	100
陀	100
風	100
饑	100
屠	100
粥	100
鳳	100
綻	100
綴	101
惣	102
梁	102
茨	103
禎	105
戚	105
伽	106
俱	106
檀	106

蜂	108
怯	108
纂	109
蹟	109
蛤	110
奸	110
襖	111
牽	119
堵	120
筐	120
伎	120
兔	120
骸	120
賭	121
輿	122
鎧	122
綸	123
熙	123
汰	124
按	124
祿	126
輦	126
鞭	126
馳	126
楮	128
藍	128
匏	130
鉞	130
鐻	130
衾	130
苑	132
哥	132
諶	133
筥	134
宸	134
扁	134
畏	134
咎	136
宥	137
傭	138
琵琶	138
只	138
鸞	138

蓮	138
滲	138
琶	138
庵	138
鴨	138
塵	140
舍	140
鳴	140
苔	141
袖	141
怨	142
竣	142
楠	144
檄	144
贅	145
挫	146
湊	146
苔	146
俯	146
魄	146
瞰	146
頓	146
屏	148
阜	148
詮	150
植	150
擾	151
揆	152
牒	152
剝	153
宦	154
璋	154
椒	154
韜	156
孟	156
跪	156
殆	157
牙	158
琉	158
舜	159
巴	159
憶	160
饗	160

嘉	160
蠣	161
鮭	161
詫	162
逼	162
勃	163
籤	163
夭	163
檜	164
曾	164
喧	165
阜	165
杧	165
檉	166
剋	166
爪	166
駿	167
糞	167
侘	168
遑	168
敦	168
稽	168
廿	170
噌	170
掙	170
醬	170
玖	170
芥	170
析	171
竄	178
遜	178
膳	184
緻	184
挺	185
堯	185
麟	186
桶	188
荀	189
嘔	189
譴	189
葡	189
貌	189
篠	190

湧	191
斐	191
叶	192
仇	192
柴	192
雖	193
并	193
悉	193
嘩	193
旭	194
賤	195
閏	196
枿	196
閣	196
湛	196
聚	196
誅	197
盃	197
謗	200
誹	200
嚙	200
鶴	200
矮	200
其	201
也	201
釘	201
脇	201
猥	202
剝	203
膠	203
虎	204
鷺	205
涌	205
碧	206
箔	207
鷹	207
蒔	207
獅	207
聘	208
牡	208
齷	210
紗	210
喰	210

襦	210
袷	210
袴	211
璃	211
藁	211
瑠	211
袷	211
站	213
窰	214
尹	214
諡	214
偃	215
佚	216
嗜	216
驩	221
灸	222
腫	222
謳	223
戊	223
琦	224
帛	224
臍	225
檠	225
禰	225
洲	226
鮫	227
溥	228
潘	228
雍	228
鮑	230
仍	230
煎	230
鱻	230
鰭	230
茲	231
訖	231
矩	232
樺	232
鄭	233
奄	233
酉	234
錦	235
琳	236

碗	236
函	236
叢	236
鑽	238
烹	238
窩	238
惺	238
鍋	239
諧	239
柿	239
碍	240
乞	241
庄	242
吞	243
溜	244
牢	246
幹	247
樟	247
煽	248
闍	248
惚	248
蕃	248
緬	248
莫	249
揄	250
昌	250
憐	250
挪	250
亨	251
荻	253
棹	254
熙	254
讐	255
冥	256
曾	256
爺	256
蕉	256
芭	256
笈	256
阜	258
牟	258
靡	259
錮	260

或	260
乃	260
攘	260
鶯	260
徂	261
護	261
徠	261
惟	261
鳩	261
燕	262
鈿	262
螺	262
硯	262
菱	262
劫	263
汲	264
裾	264
箕	264
椿	264
粃	264
芦	264
篒	264
隧	264
犁	264
祐	265
壺	265
銚	265
蜜	266
竿	266
粕	266
苧	266
糠	266
漉	266
翮	266
雁	266
柑	266
蕎	267
鯉	268
燻	268
鯨	269
醬	270
灘	270
桐	271

紬	271
挽	271
晒	271
緞	271
緝	271
欄	271
贄	272
確	272
媚	273
筏	274
霞	274
樽	274
秤	276
旺	277
杷	279
耆	279
枇	279
喉	279
鐮	280
棠	282
敲	282
叩	282
賈	282
蔭	282
蔗	283
藪	283
櫨	283
旛	284
鋤	284
罕	285
畢	285
竟	285
賽	286
穰	286
洒	288
捐	288
撒	288
筈	290
蘭	290
哉	290
迄	290
惧	291
蔦	291

已	291
欣	292
捉	293
拿	294
戍	296
嶺	296
擲	297
菲	298
輻	298
富	300
膝	300
渥	300
磨	300
蕪	300
嶋	301
弼	302
蟠	302
撫	302
朋	304
鱗	305
翰	305
紉	306
愕	315
萌	315
峙	318
惹	321
榎	324
稜	324
撼	325
倦	327
陋	327
榜	327
喬	329
隈	329
禧	329
輔	329
幌	330
廠	330
駒	330
礦	330
兌	331
諺	332
毀	333

虱	334
啄	336
舘	337
樋	337
鷗	337
穉	337
漱	337
矇	337
隴	337
隙	341
熾	344
攪	346
楊	346
捺	346
詢	346
毅	347
爰	349
斟	349
拳	350
膺	350
悖	350
咸	350
肇	351
宏	351
厥	351
馨	351
椅	354
凌	354
駕	354
串	356
臥	357
伍	357
囁	360
噓	360
殲	361
嬉	364
瀕	366
哈	366
噠	366
涉	366
凱	368
袁	368
棉	371

凜	372
渙	372
煉	373
圭	382
闊	384
鞞	384
霖	388
蛛	388
莞	388
蔣	388
蚶	388
筭	389
塘	390
冀	390
沽	390
儼	392
傀	392
豐	393
瞋	396
萱	396
慾	396
盧	398
扮	400
屑	408
弩	411
咆	411
哮	411
詵	413
汪	415
蒼	420
蔽	420
瞞	428
蔑	429
濤	430
炸	431
弄	435
舷	439
轟	439
纜	439
駁	440
稔	450
葵	451
姦	455

絆	455
礫	460
喘	465
俟	465
玲	467
蔓	467
佑	467
浩	467
梶	467
赴	468
魁	469
恢	471
耀	473
疆	477
拉	479
凜	482
頁	487
曝	487
彷徨	488
閃	489
僅	496
冲	500
躊躇	500
騏	504
槻	504
奎	504
渾	505
邯	505
淮	505
祁	505
煌	505
渭	505
于	505
杭	505
泚	505
閩	505
汴	505
崑	505
滇	505
陟	505
掖	505

沛	505
涿	505
瀆	505
鄩	505
鄆	505
闐	505
渠	505
泗	505
崙	505
鶻	506
勒	506
臘	506
嶺	507
楚	507
隧	509
蛭	509
鶻	509
砺	509
鞍	512
矧	513
醞	513
崗	514
堡	515
榭	518
蹄	518
漳	519
釜	519
蔚	519
狗	520
潞	522
烙	523
粵	524
汕	524
厦	524
鬱	525
閩	526
馮	526
瑚	526
孚	526
珊	526
筵	527
斑	530
眉	534

袈	536
袞	536
擗	536
頰	540
玳	542
駱	542
貼	542
瑁	542
駝	542
絃	543
臂	543
忿	544
縞	544
狐	545
蛙	545
吽	546
蟻	548
砧	549
慧	549
禽	550
綵	555
謚	558

## 出 典 一 覧 表

申請図書			出 典					備考
ページ	名 称	種別	名 称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
18	岩宿遺跡発掘 50 周年 の記念切手	写真					平成 1 1 年	
23	三内丸山遺跡	写真						Wikimedia Commons
29	象形文字・楔形文字	写真						Wikimedia Commons
38	吉野ヶ里遺跡	写真						吉野ヶ里遺跡 公園ウェブサ イト
39	アレクサンドロス大 王	写真						Wikimedia Commons
40	フォロ・ロマーノ	写真						Wikimedia Commons
44	神武天皇	写真						Wikimedia Commons
49	隋書倭国伝	写真	訳注中国正史日本伝		石原道博			
57	五色塚古墳	写真						
60	仁徳天皇陵古墳	写真						Wikimedia Commons 提供 堺市

65	古墳カレー	写真						撮影 竹田恒泰
69	一万円札	写真						C 一万円券
83	大極殿	写真						Wikimedia Commons
91	和気清麻呂	写真						丙 10 円券
92	宇佐八幡宮	写真						国立国会図書館
95	羅生門	写真						Wikimedia Commons
99	紫式部・源氏物語	写真						Wikimedia Commons
107	文永の役	写真						Wikimedia Commons
117	壇ノ浦の戦い	写真						神護寺蔵
120	源頼朝	写真						Wikimedia Commons
121	源氏紋	写真						提供 高野山 霊宝館
124	鎌倉御家人	写真						提供 高野山 霊宝館
125	鎌倉方	写真						Wikimedia Commons
127	後鳥羽上皇	写真						Wikimedia Commons
130	笠懸・建設現場	写真						東京国立博物館所蔵

133	蒙古襲来絵巻詞・フ ビライ・ハン	写真					提供 宮内庁 Wikimedia Commons
134	モンゴル草原	写真					Wikimedia Commons
135	宮崎宮	写真					Wikimedia Commons
141	一遍	写真					東京国立博物 館
142	南大門・踊念仏	写真					Wikimedia Commons
143	北野天神五巻・六巻	写真					東京国立博物 館 北野天満宮蔵
144	新田義貞	写真					提供 藤島神 社
145	後醍醐天皇	写真					Wikimedia Commons
146	楠木正成	写真					Wikimedia Commons
147	護良親王	写真					Wikimedia Commons

148	室町第	写真						Wikimedia Commons
151	足利義満	写真						Wikimedia Commons
152	後小松・後龜山天皇	写真						Wikimedia Commons
157	懷良親王	写真						提供 八代市立博物館未来の森ミュージアム
159	進貢船・首里城	写真						Wikimedia Commons
160	イオマンテ	写真						Wikimedia Commons
165	伊勢の神宮	写真						提供 産経新聞社
166	応仁の乱	写真						Wikimedia Commons
168	永楽通宝	写真						Wikimedia Commons
170	足利義満	写真						浅井コレクション蔵
172	たつの市	写真						Wikimedia Commons
179	算額	写真						Wikimedia Commons

183	石見銀山	写真						国際日本文化 研究センター
185	南蛮屏風	写真						Wikimedia Commons
187	天正遣欧使節	写真						京都大学附属 図書館蔵
189	天下布武	写真						歴彩館蔵
190	正親町・長篠合戦	写真						Wikimedia Commons
195	大阪城	写真						Wikimedia Commons
197	信長・秀吉	写真						Wikimedia Commons
203	釜山	写真						Wikimedia Commons
205	後陽成天皇	写真						Wikimedia Commons
206	姫路・松本城	写真						Wikimedia Commons
207	洛中洛外囃	写真						Wikimedia Commons
209	千利休・音曲・庵	写真						Wikimedia Commons

210	阿国歌舞伎	写真					京都国立博物館
211	平家物語	写真					大英図書館蔵
212	関ヶ原合戦	写真					Wikimedia Commons
		写真					Wikimedia Commons
214	徳川家康						東京国立博物館
236	琉球・蝦夷・朝鮮人・出島	写真					Wikimedia Commons
238	桂離宮・日光東照宮	写真					Wikimedia Commons
		写真					
243	農村の生活	写真					Wikimedia Commons
253	金貨の成分比	写真					国立国会図書館デジタルコレクション
		グラフ	大蔵省理財局『日本通貨変遷図』				
258	芝居小屋	写真					提供 国立歴史民俗博物館
		写真					
259	人形浄瑠璃						Wikimedia Commons
260	松尾芭蕉						提供 長崎歴
262	山鹿素行	写真					

266	貞享暦	写真						史文化博物館
270	農業全書	写真						提供 Cool Art
285	佐渡金山	写真						Tokyo
288	田沼意次	写真						Wikimedia Commons
290	市中騒動	写真						Wikimedia Commons
297	松平定信	写真						Wikimedia Commons
300	大塩平八郎・水野忠邦	写真						東京国立博物館
301	本居宣長・古事記伝	写真						Wikimedia Commons
304	渥美半島	写真						Wikimedia Commons
	マシュー・ペリー	写真						Wikimedia Commons
	孝明天皇	写真						Wikimedia Commons
309		写真	『太陽 臨時増刊 明治 聖天子』博文堂、1912 年より					東京国立博物館 所蔵

		写真					Wikimedia Commons
323	家茂・馬関戦争	写真					Wikimedia Commons
328		写真					Wikimedia Commons
331	明治の人口構成	グラフ					提供 東京大学史料編纂所
334	八幡・造船所・端島炭鉱	写真	『日本の人口』安藤良雄編『近代日本経済史要覧』より	関山直太郎			国立国会図書館
342	福沢諭吉	写真					提供 内閣官房
344	尖閣諸島	写真					Wikimedia Commons
347	田原坂の戦い・西郷隆盛	写真					Wikimedia Commons
348	帝国憲法・署名	写真					Wikimedia Commons
354	伊藤博文・井上毅・帝国憲法	写真					Wikimedia Commons
355	平壤の戦い	写真					Wikimedia Commons
356	大本営・下関講和	写真					Wikimedia Commons
357	下関講和談判	写真					Wikimedia Commons

360	エルトゥールル号・ オスマン提督	写真 写真					Wikimedia Commons Wikimedia Commons
362	ルーズベルト						
364	水師營・乃木・ステ	写真					
367	ッセル	写真					
	三笠	写真					©Hiroyuki Sugano
373	境界標石	写真					Wikimedia Commons Wikimedia Commons
377	明治天皇	写真					Wikimedia Commons Wikimedia Commons
380	日本赤十字	写真					Wikimedia Commons Wikimedia Commons
383	パリ講和会議	写真					Wikimedia Commons Wikimedia Commons
	貿易額の推移	図	長期経済統計「貿易と国 際収支」				©竹田恒泰
385		写真					Wikimedia Commons Wikimedia Commons
	美濃部達吉・吉野作 蔵	写真					Wikimedia Commons Wikimedia
387							

	丸の内駅舎	写真						Commons
389	現在の東京駅	写真						
392	石原莞爾							Wikimedia Commons
395	溥儀・リットン調査団	写真 写真						Wikimedia Commons Wikimedia Commons
398	取り付け騒ぎ 日本軍の中央組織	図 写真	『大本営発表』	辻田真佐 憲	幻冬舎新書			Wikimedia Commons ©Hiroyuki Sugano
401	宮沢賢治	写真						Wikimedia Commons
402	二二・六・盧溝橋							Wikimedia Commons
403	近衛文麿	写真						Wikimedia Commons
404	零戦	写真						Wikimedia Commons
405	東京オリンピック							©Hiroyuki Sugano
406	ワルシャワ市街	写真						Wikimedia Commons
407	樋口季一郎	写真						Wikimedia Commons
410	杉原千畝・ビザ	写真						Wikimedia Commons Wikimedia

411	戦艦大和						Commons
412		写真					Wikimedia Commons
417	ルーズベルト	写真					
	東条英機・木戸幸一	写真					Wikimedia Commons
421	真珠湾攻撃	写真					Wikimedia Commons
423	ミッドウェー海戦	写真					
426	B-29・東京大空襲						©竹田恒泰
		写真					©竹田恒泰
	戦艦ミズーリ	写真					Wikimedia Commons
436	乙女の碑						Wikimedia Commons
		写真					
437	電信局跡地	写真					Wikimedia Commons
438	行幸記念碑	写真					Wikimedia Commons
450	小笠原丸						Wikimedia Commons
	マッカーサー・全権	写真					
454	代表団	写真					Wikimedia Commons
455	日本国憲法原本	写真					Wikimedia Commons
460	昭和天皇とマッカー						Wikimedia Commons

	サー	写真						Wikimedia Commons
463	ナヴォイ劇場	写真						©竹田恒泰
464	新幹線車両	写真						首相官邸ホームページ
470	特急あじあ							
478	昭和天皇巡幸	写真						Wikimedia Commons
486	慰安婦像	写真						提供 産経新聞社
487	即位礼正殿の儀・新元号	写真						Wikimedia Commons
488	オバマ大統領と安倍首相	写真						Wikimedia Commons
489	森重昭さん	写真						神宮司庁蔵
497	折り鶴							東京国立博物館蔵
529	大津波記念碑	写真						茅野市尖石縄文考古館蔵
530	鶴斑毛御彫馬	写真						十日町市博物館蔵
531	遮光器土偶	写真						山梨県立考古博物館蔵
	縄文のビーナス	写真						





554	品川	写真						保記念館
555	夏之不二	写真						長野県立美術館蔵
	黒船屋							©岡本太郎記念館
556		写真						個人蔵
558	緑響く	写真						横浜美術館蔵
559	明日の神話	写真						
	娘							
	春少女	写真						

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
  - ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
  - ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。
- 2 「出典」の欄については次のとおりとする。
- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
  - ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
  - ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。
- 3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。
- 4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第 33 条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考 4 の内容について確認しました。



## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考にする情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	501	二次元コード	令和書籍株式会社	自社ページURL	漫画『承久の乱 (承久の変)』	別紙1添付

(備考)

申請図書中に発行者が管理するウェブサイトのアドレス（二次元コードその他のこれに代わるものを含む。）を掲載する場合に、本表を以下のとおり作成する。

1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「番号」の欄は、複数のページ等に掲載されたウェブサイトのアドレスが同一のウェブサイトを参照させる場合、一つの番号にまとめて記入する。
- ② 「ページ」の欄は、ウェブサイトのアドレスの申請図書における掲載ページを示す。
- ③ 「種別」の欄は、URL、二次元コード等の別を示す。

2 「学習上の参考にする情報」の欄については次のとおりとする。

- ① 「参照先」の欄には、発行者のページから参照させる学習上の参考にするページを作成する団体名などを記入する。
- ② 「URL」の欄には、実際に参照させる学習上の参考にするページのURLを記載する。なお、参照先が発行者の作成したページである場合は、「自社ページURL」と記入する。
- ③ 「概要」欄には、参照先における情報の内容を簡潔に記入する。

3 申請図書中のウェブサイトのアドレスが参照させるウェブサイトの画面を印刷した紙面には、対応する本表の番号を紙面右上に付記し、本表に添付すること。

4 学習上の参考にする情報を示すウェブサイトが発行者において作成したページの場合、参照先のウェブサイトの画面を印刷した紙面を、本表に添付すること。その際、「備考」の欄に「別紙1添付」などと記載し、印刷した紙面右上に「別紙1」などと記入すること。